

**総合研究院**  
**アグリ・バイオ工学研究部門**  
**公開セミナーのお知らせ**

- (1) 日時 11月25日(水曜日) 16:00:~17:00
- (2) 場所 講義棟 308 教室
- (3) セミナーの内容について

植物はストレス下におかれると、形態の可塑性を発揮し、新しい環境に適応していると考えられています。私はシロイヌナズナが塩・乾燥ストレス下で示す根の構造に着目し、そこに低分子 RNA と標的 mRNA の相互作用が関与しているという仮説を立て、次世代シーケンサーなどを用いてこの現象に低分子 RNA (miR167) と標的 mRNA (IAR3) のペアが機能していることを見出しました。IAR3 はオーキシン活性化酵素であるだけでなく、香り物質であるジャスモン酸にも著しく応答します。今後はジャスモン酸など揮発性物質を研究対象としていこうと考えています。これまでの環境ストレス応答の話と、これからの方向性について紹介します。

招待講演

時間 : 16:00:~17:00

演題 : 「塩・乾燥ストレス下の植物で機能する低分子 RNA-標的 RNA ペアの探索から香りの研究へ」

講師 : 木下奈都子 助教(筑波大学 生命環境系)

場所 : 講義棟 308 教室

世話人 基礎工学研究科  
          生物学専攻  
          有村 源一郎